

高岡 J C

[富山県]

現役と共に市民主体の 事業をバックアップ

今 年開町400年を迎える高岡は、アルミ産業を核として日本海側有数の工業出荷高を誇る一方、伝統・文化の薫り高い趣のあるまちでもあります。

高岡青年会議所は1971年に445番目のLOMとして認証を受けました。富山県で最初のLOM設立が認証番号29番の富山青年会議所の1952年ですので、県内第2の都市のLOMとしてはずいぶん新しいと思われるかも知れません。実は、県東西の対立を廃し融合を図ろうという意図から、富山県の青年会議所運動には「1県1青年会議所」の設立精神というものがあり、長年県内に1LOMだけしか存在しなかった時期が長かったのです。設立以来、「LDの高岡」として名をはせてきた高岡青年会議所で



じゃがいも倶楽部理事長杯



国宝瑞龍寺ライトアップ



全国城下町シンポジウム



大同窓会

すが、近年では市民と共に参画するまちづくりの努め、国宝瑞龍寺のライトアップ、地域コンサート「ホームタウン」の開催など、JCIが提唱し、市民が主体となって行う継続事業へと広がってきています。

高岡は加賀藩二代目藩主前田利長の居城高岡城築城に始まる城下町ですが、築城後数年にして二国二城の令により廃城となり、以後町人によるまちづくりで発展してきた歴史があります。約70か所の城下町のLOMからなる全国城下町青年会議所連絡協議会にも参加し、5年前には全国大会に当たる全国城下町シンポジウムも主管しています。

日本JCIシニア・クラブ
富山ブロック担当幹事

竹中 伸行

高岡JCIシニアクラブでは、現役の支援とメンバー間の懇親を目的として活動を行っていますが、現在では総勢400人を超える大所帯となっています。京都会議LOMナイトでの理事長激励、新年総会、12月例会の懇親会への参加、大同窓会、じゃがいも倶楽部での交流など、現役との接点も結構あります。

現役との懇親会では、かつての武勇伝に花を咲かせる愛すべき「先輩」ではありますが、若き日の熱い思いを共有するシニアメンバーは、現役時代に培ったスキル、ネットワークを活かし、地域で実践するために日夜がんばっています。